

らくらく電子納品 から 現場編集長 CALSMaster への データ移行手順書

はじめに

本マニュアルには、「らくらく電子納品」のデータ（写真、アルバム、図書管理、出来形管理）を「現場編集長 CALSMaster（以下、CALSMaster）」に移行する手順についてまとめられています。

なお、この手順書ではらくらく電子納品がインストールされているパソコンに CALSMaster をインストールした場合のデータ移行手順を説明しています。

目次

はじめに	2
1. らくらく電子納品 - CALSMaster データ移行の流れ.....	2
2. らくらく電子納品 - CALSMaster データ移行手順	3
【手順1】 CALSMaster のデータベースユーティリティで 茨城県体系データを取り込む.....	3
【手順2】 CALSMaster の出来形管理ツールで 茨城県様式を取り込む.....	8
【手順3】 らくらく電子納品の写真管理ツールで工事バックアップデータを作成	11
【手順4】 らくらく電子納品の出来形管理ツールで工事バックアップデータを作成	13
【手順5】 CALSMaster の写真管理ツールで工事バックアップデータを回復.....	15
【手順6】 CALSMaster の出来形管理ツールで工事バックアップデータを回復.....	17

1. らくらく電子納品 - CALSMaster データ移行の流れ

らくらく電子納品から CALSMaster にデータ移行する手順は以下のような流れとなります。

【手順1】

CALSMaster のデータベースユーティリティで茨城県体系データを取り込む

【手順2】 出来形管理ツールを使用している場合

CALSMaster の出来形管理ツールで茨城県様式を取り込む

【手順3】

らくらく電子納品の写真管理ツールで工事バックアップデータを作成

【手順4】 出来形管理ツールを使用している場合のみ

らくらく電子納品の出来形管理ツールで工事バックアップデータを作成

【手順5】

CALSMaster の写真管理ツールで工事バックアップデータを回復

【手順6】 出来形管理ツールを使用している場合のみ

CALSMaster の出来形管理ツールで工事バックアップデータを回復

上記の手順を実行する前に CALSMaster をお使いのパソコンにインストールしておく必要があります。
CALSMaster のインストール方法につきましては CALSMaster インストール CD 内のインストールマニュアルをご覧ください。

2. らくらく電子納品 - CALSMaster データ移行手順

【手順 1】 CALSMaster のデータベースユーティリティで茨城県体系データを取り込む

【茨城県体系データのダウンロード】

以下のアドレスから茨城県体系データ（「茨城県 DATA.csv」）をダウンロードします。

（ダウンロード先をデスクトップにしておく確認が楽になります。）

<http://www.calsmaster.com/main/info/rakuraku.html>

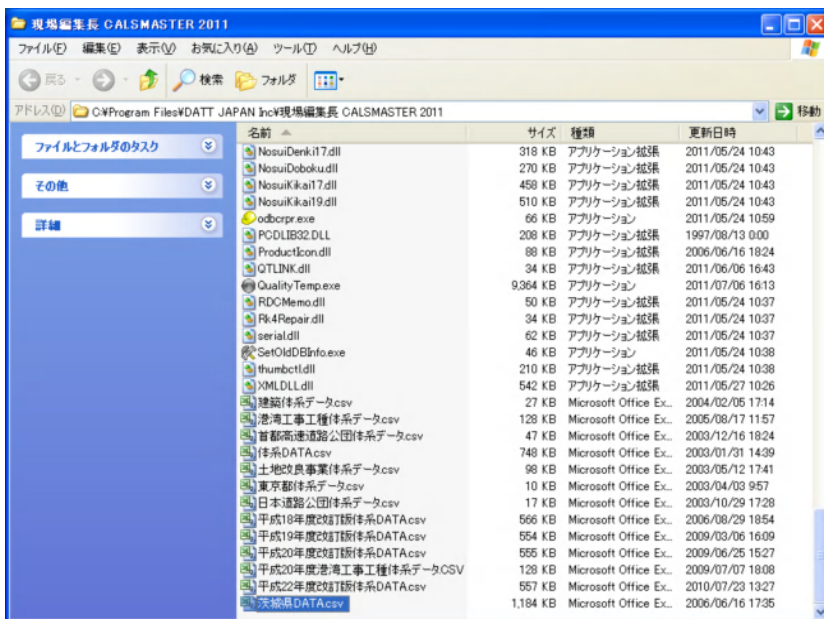
【茨城県体系データをプログラムフォルダにコピー】

Windows XP をお使いの場合



CALSMaster のアイコン上で右クリックメニューを表示し「プロパティ」を選択します。

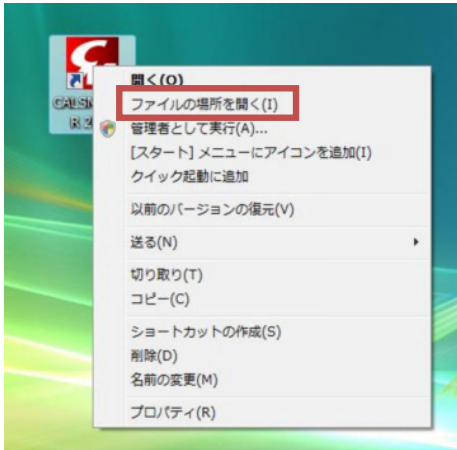
プロパティ画面が表示されましたら「リンク先を探す(F)」をクリックします。



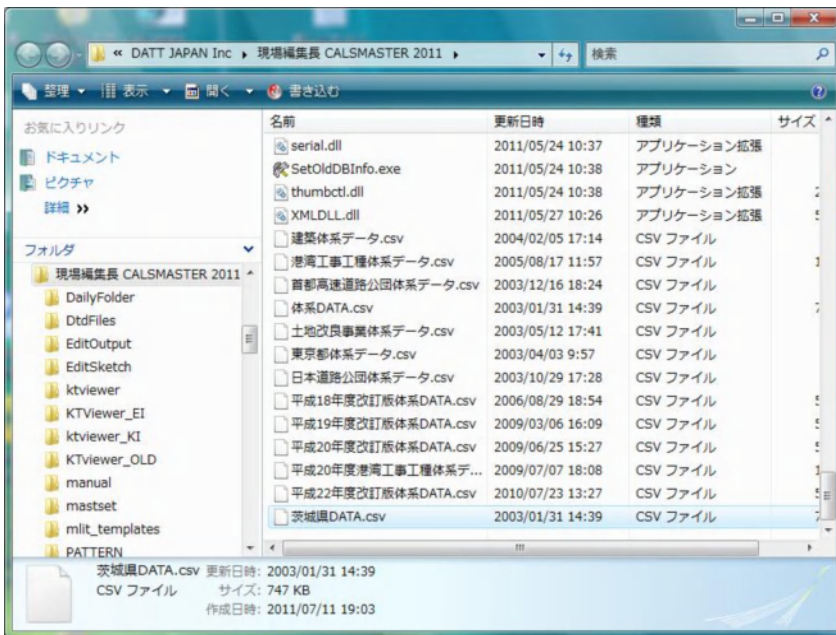
CALSMaster のプログラムフォルダが表示されますので、そのフォルダに「茨城県 DATA.csv」ファイルをコピーします。



Windows Vista / 7 をお使いの場合



CALSMaster のアイコン上で右クリックメニューを表示して「ファイルの場所を開く(I)」を選択します。

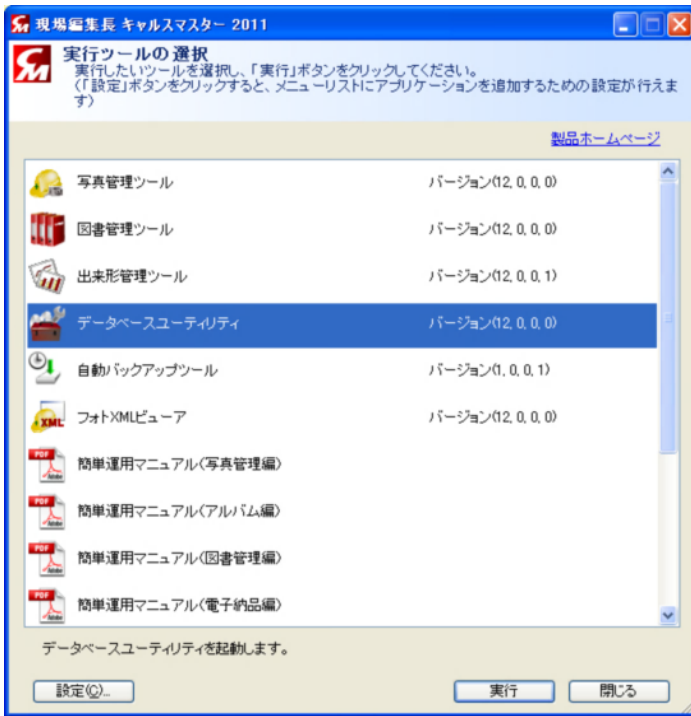


CALSMaster のプログラムフォルダが表示されますので、そのフォルダに「茨城県 DATA.csv」ファイルをコピーします。

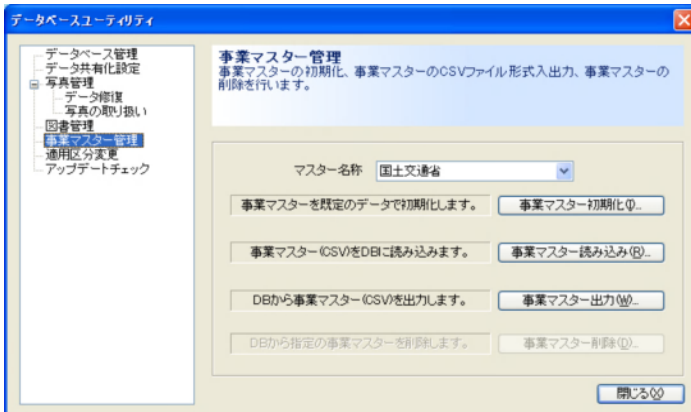


【データベースユーティリティの起動】

実行ツールの選択画面で「データベースユーティリティ」を選択し、「実行」ボタンをクリックします。

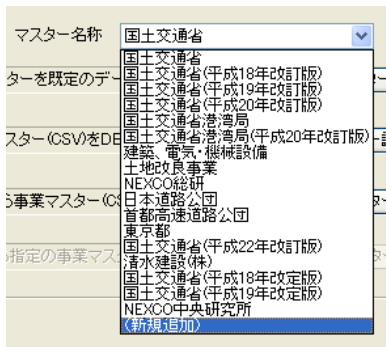


データベースユーティリティのメニューより「事業マスター管理」を選択し、事業マスター管理画面を表示します。

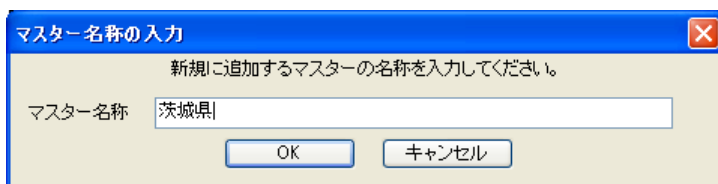


【事業マスターの追加】

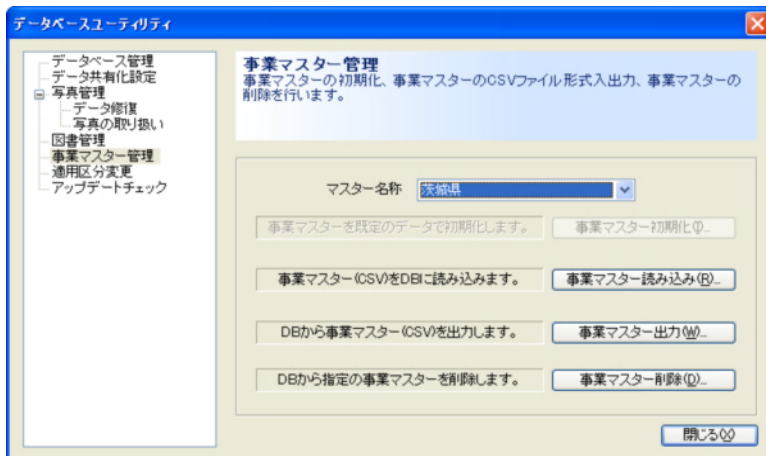
マスター名称のプルダウンメニューから（新規追加）を選択します。



マスター名称の入力画面が表示されますので、「茨城県」と入力して「OK」をクリックします。



新規事業マスターとして入力した内容（「茨城県」）が登録されますので、「事業マスター読み込み(R)」ボタンをクリックします。

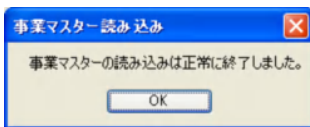


【事業マスター読み込み】

登録した事業マスター（「茨城県」）に茨城県体系データ（「茨城県 DATA.csv」）を読み込みます。



処理が完了すると、確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックし終了してください。

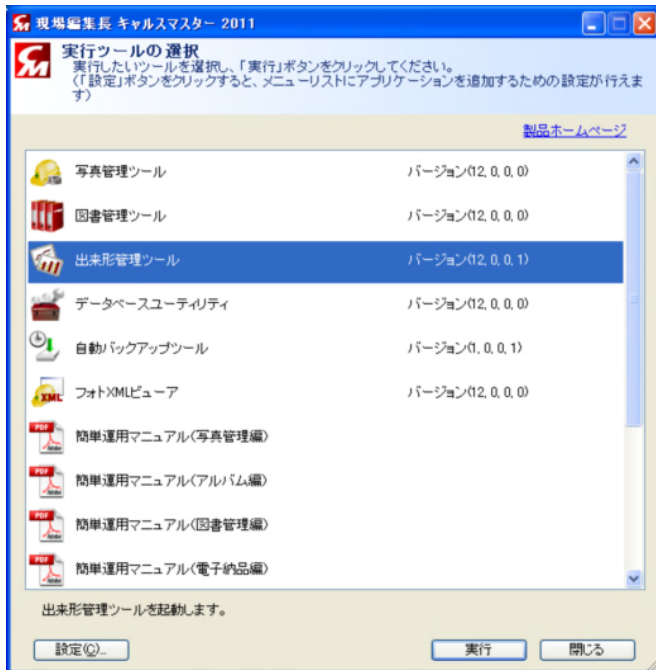


【手順 2】 CALSMaster の出来形管理ツールで茨城県様式を取り込む

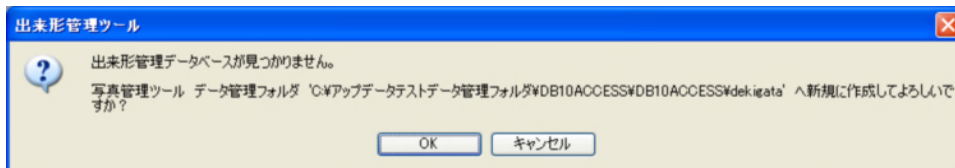
(こちらは出来形管理ツールをご利用いただいている場合のみの作業手順となります。
出来形管理ツールをご利用されていない場合は【手順 3】にお進みください。)

【出来形管理ツールの起動】

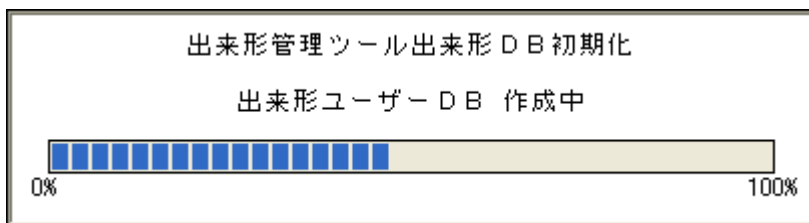
実行ツールの選択画面で「出来形管理ツール」を選択し「実行」ボタンをクリックします。



CALSMaster インストール後、出来形管理ツール初回起動時にデータベースの新規作成確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックし出来形管理ツールのデータベースを作成します。



データベース作成中のダイアログが表示されますので、処理が終了するまでお待ちください。

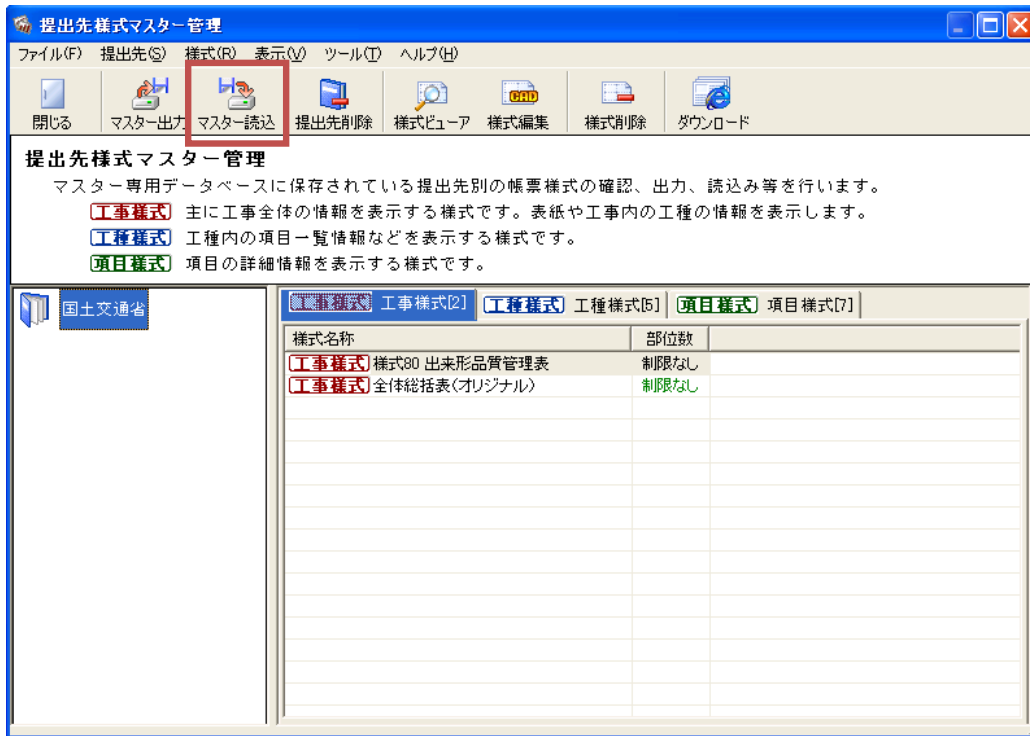


【茨城県様式マスターの取り込み】

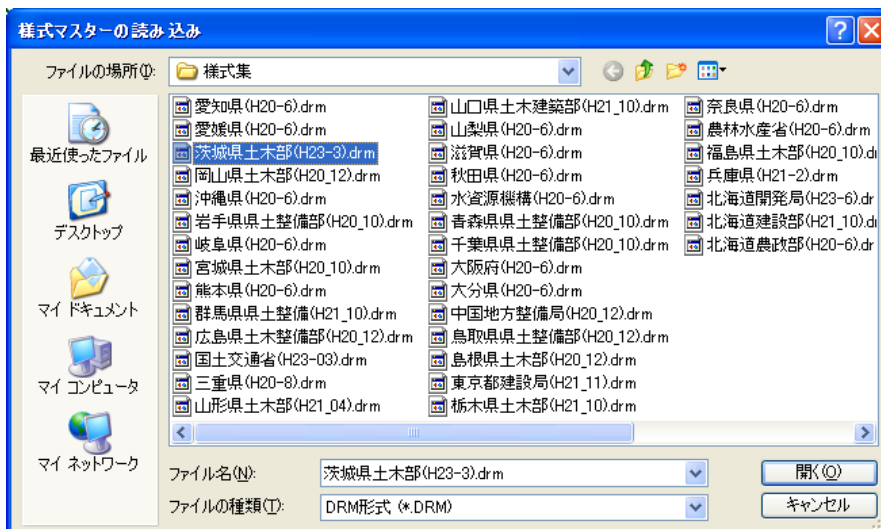
出来形管理ツールのデータ管理画面が表示されますので、「ツール(T)」-「様式マスター管理(R)」もしくは「様式マスター」アイコンをクリックします。



様式マスター管理画面が表示されますので、「提出先(S)」-「提出先マスターデータの読み込み(T)」もしくは「マスター読み込み」アイコンをクリックします。



ファイル選択画面が表示されますので、茨城県のマスターデータを選択して「開く(O)」をクリックします。



読み込み印刷様式の選択画面が表示されますので、読み込みたい帳票様式にチェックをつけて「OK」をクリックするとマスターデータが登録され、選択した様式を出来形管理ツールで使用することができるようになります。

読み込み印刷様式の選択

読み込む印刷様式にチェックを付け、OKボタンを押してください。

様式名称	部位数	
<input checked="" type="checkbox"/> 工事様式 出来形管理一覧表(I)	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 工事様式 国交-様式80 出来形品質管理表	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 工事様式 全体総括表(オリジナル)	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 工種様式 出来形管理図表(I) 工種	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 工種様式 国交-様式80 出来形品質管理表(工種)	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 工種様式 国交-様式81 測定結果総括表	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 工種様式 国交-様式82 測定結果一覧表	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 略図(オリジナル)	制限なし	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 出来形管理図表(I)3段1部位	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 出来形管理図表(I)3段3部位	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 出来形管理図表(I)5段1部位	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 出来形管理図表(I)5段5部位	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 出来形管理図表(Ⅲ)-1部位	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 出来形管理図表(Ⅲ)-3部位	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 項目様式 国交-様式85 度数表	制限なし	

全選択(A) 全解除(C) OK キャンセル

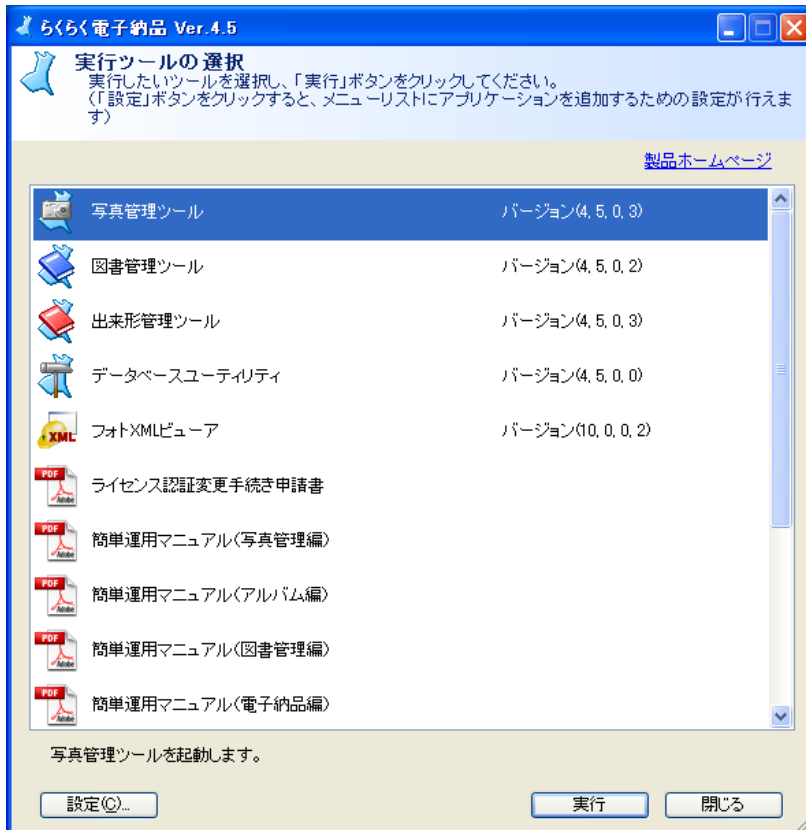
【手順 3】 らくらく電子納品の写真管理ツールで工事バックアップデータを作成

CALSMaster へ移行したい工事データ()のバックアップを作成します。

ここでは写真、アルバム、図書管理のデータがバックアップされます。

【写真管理ツールの起動】

実行ツールの選択画面で「写真管理ツール」を選択し「実行」ボタンをクリックします。



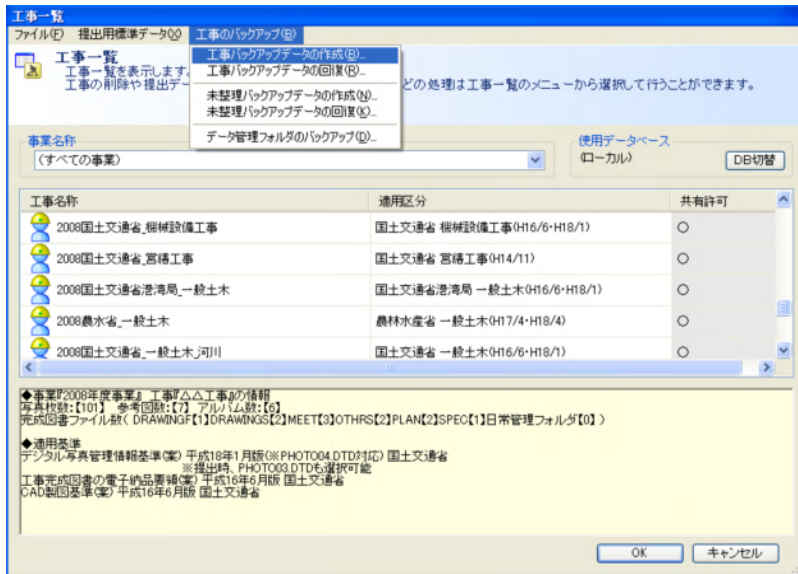
【工事一覧の表示】

写真管理ツールのツールバーより「一覧」ボタンをクリックし工事一覧を表示します。

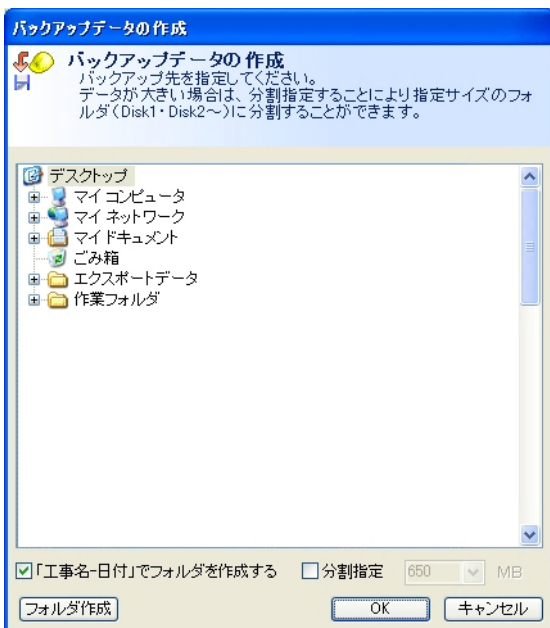


【工事バックアップデータの作成】

工事一覧画面でバックアップを取りたい工事を選択し、「工事のバックアップ(B)」 - 「工事バックアップデータの作成(B)」を選択します。



バックアップデータの作成画面が開きますので、バックアップファイルの保存場所を指定し、「OK」をクリックしてください。



「工事名-日付」でフォルダを作成する にチェックマークをつけると、出力先に工事名と日付でフォルダを作成しバックアップデータを出力します。

分割指定

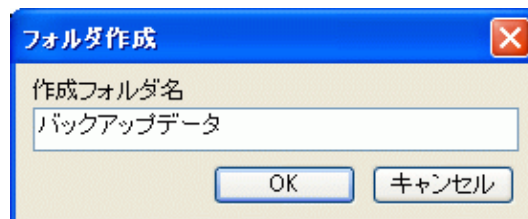
「分割指定」にチェックマークをつけると、バックアップデータを指定のサイズで分割します。

CD-R などに書き込めるように指定のサイズに分割して出力します。

フォルダ作成

保存先のフォルダを新規に作成します。

フォルダ名を入力し「OK」をクリックすると、選択されているフォルダの下に新しいフォルダが作成されます。

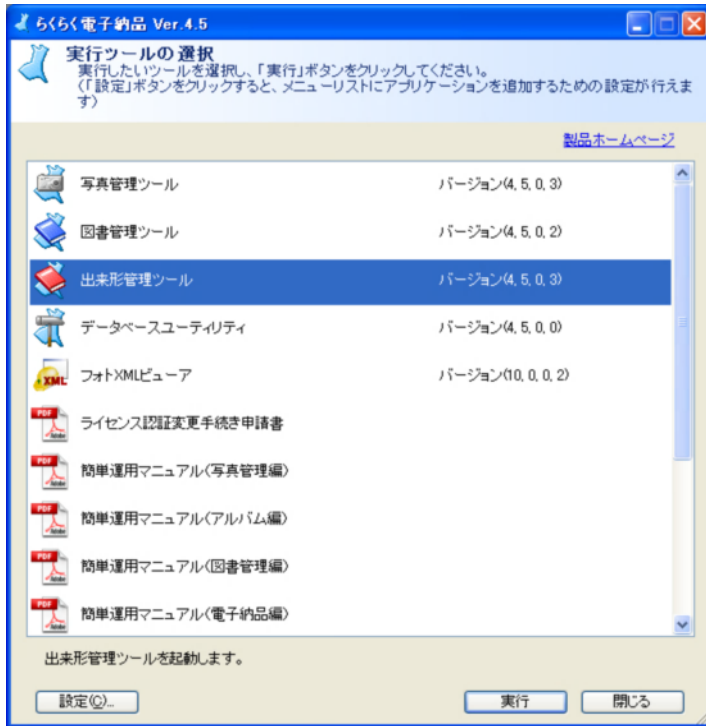


【手順 4】 らくらく電子納品の出来形管理ツールで工事バックアップデータを作成

(こちらは出来形管理ツールをご利用いただいている場合のみ作業手順となります。
出来形管理ツールをご利用されていない場合は【手順 5】にお進みください)

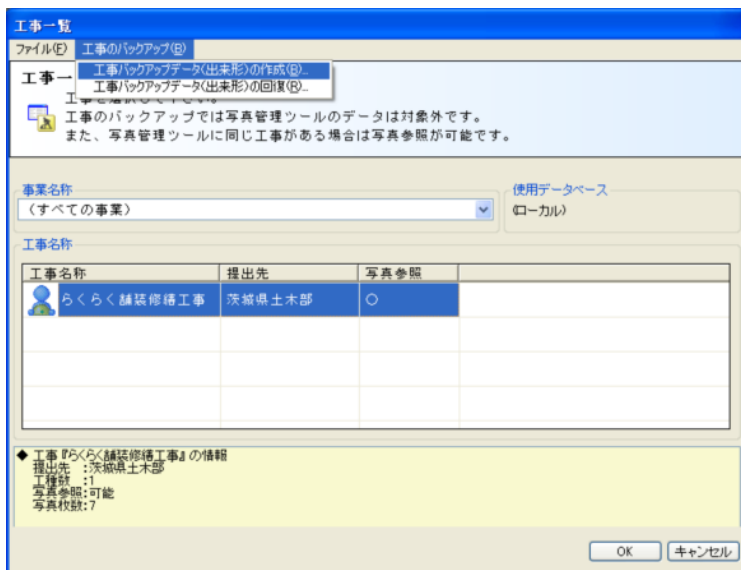
【出来形管理ツールの起動】

実行ツールの選択画面で「出来形管理ツール」を選択して「実行」ボタンをクリックします。

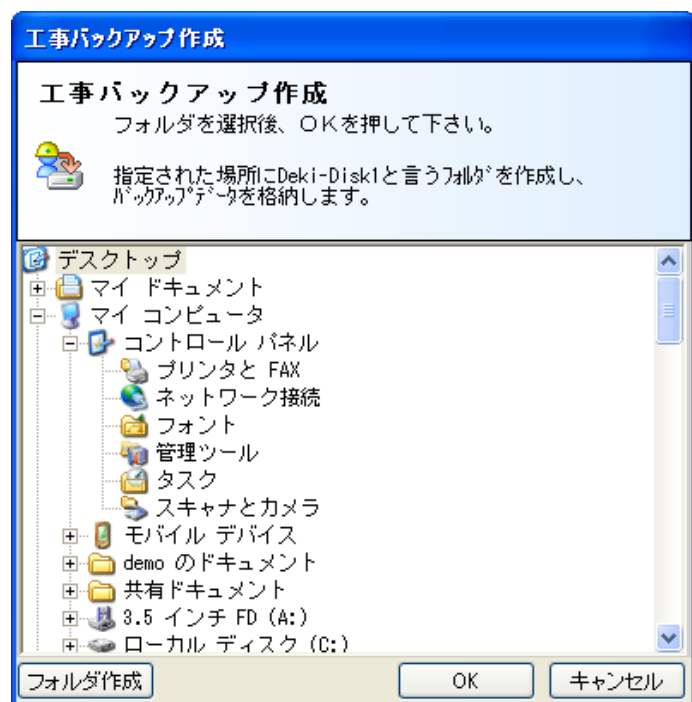


【工事バックアップデータの作成】

バックアップを作成するには、工事一覧を表示しバックアップを行いたい工事名称を工事名称ウインドウで選択して、「工事のバックアップ(B)」 - 「工事のバックアップデータ(出来形)の作成(B)」をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。



バックアップデータを格納したいフォルダを選択もしくは作成し選択して「OK」をクリックすると、選択したフォルダ内に「Deki-disk1」と言うフォルダを作成し、そのフォルダにバックアップデータを格納します。



バックアップデータは出来形管理ツールのデータのみのバックアップデータとなります。
写真等のデータのバックアップを作成する時は写真管理ツールでバックアップを作成してください。

【手順 5】 CALSMaster の写真管理ツールで工事バックアップデータを回復

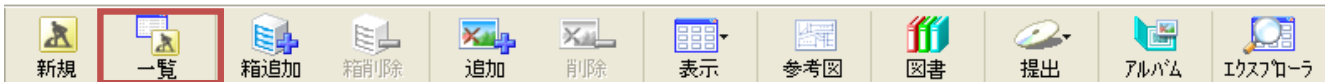
【写真管理ツールの起動】

実行ツールの選択画面で「写真管理ツール」を選択して「実行」ボタンをクリックします。



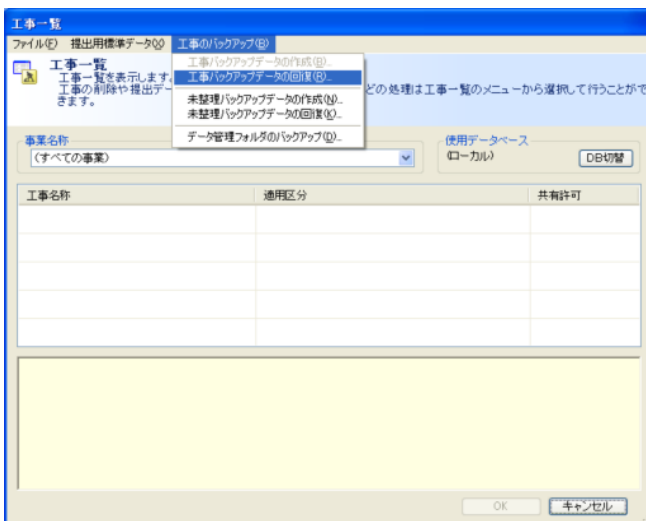
【工事一覧の表示】

写真管理ツールのツールバーより「一覧」ボタンをクリックし工事一覧画面を表示します。

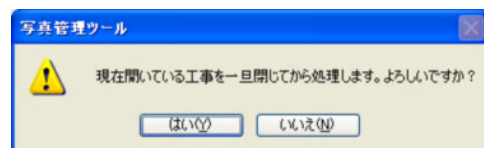


【工事バックアップデータの回復】

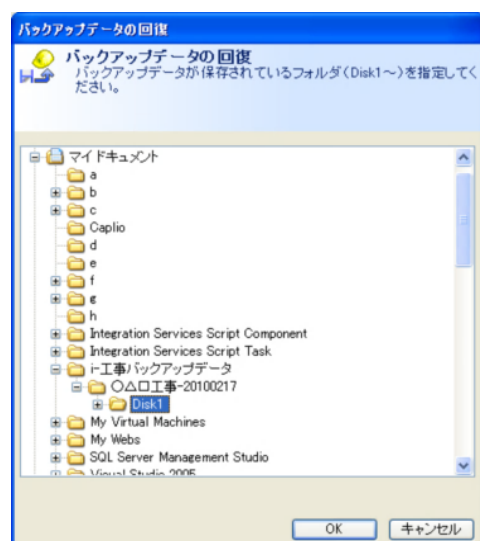
工事一覧画面にて「工事のバックアップ(B)」 - 「工事バックアップデータの回復(R)」を実行し、バックアップデータの回復画面を表示します。



この機能を選択しますと、既に開いている工事がある場合は工事を閉じるメッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



フォルダ選択画面が表示されますので、【手順3】で作成した工事バックアップデータ「Disk1」フォルダを選択し「OK」をクリックすると、バックアップデータの回復が開始されます。



同名の工事がある場合は確認メッセージが表示されます。

「はい(Y)」をクリックすると回復する工事に書き換えられます。この場合、バックアップファイルの方が古い場合は、古いデータに戻ってしまいますのでご注意ください。

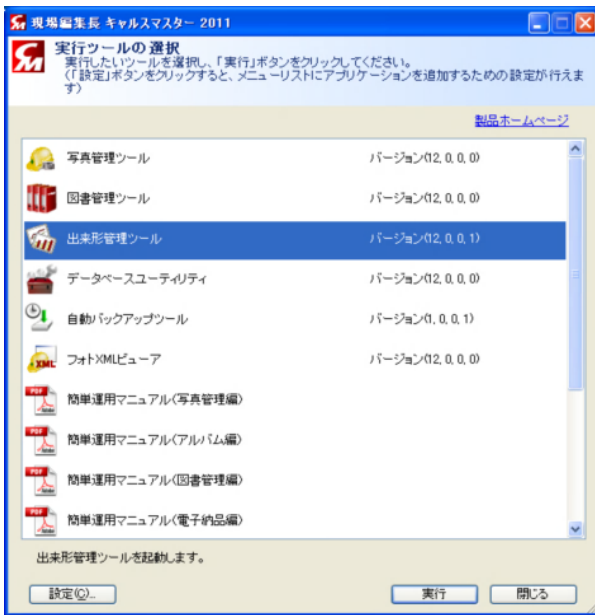
【手順 6】 CALSMaster の出来形管理ツールで工事バックアップデータを回復

(こちらは出来形管理ツールをご利用いただいている場合のみの作業手順となります。)

出来形管理ツールをご利用されていない場合は、データ移行作業はこれで終了となります。)

【出来形管理ツールの起動】

実行ツールの選択画面で「出来形管理ツール」を選択し「実行」ボタンをクリックします。

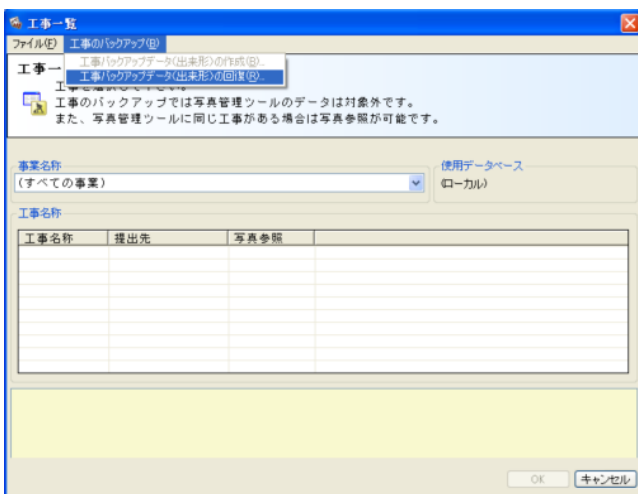


【工事一覧の表示】

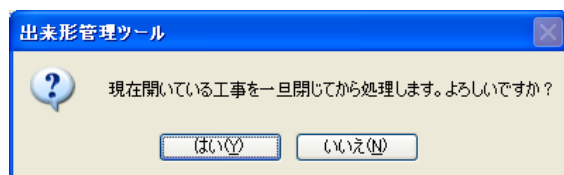
出来形管理ツールのツールバーより「一覧」ボタンをクリックし工事一覧画面を表示します。



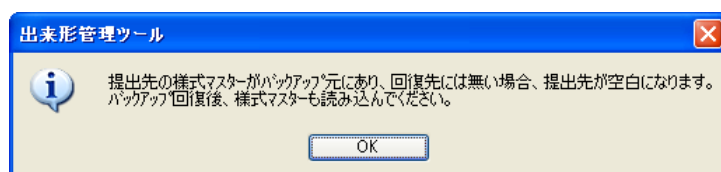
バックアップデータの回復は、工事一覧画面を表示し「工事のバックアップ(B)」-「工事のバックアップデータ(出来形)の回復(R)」をクリックします。



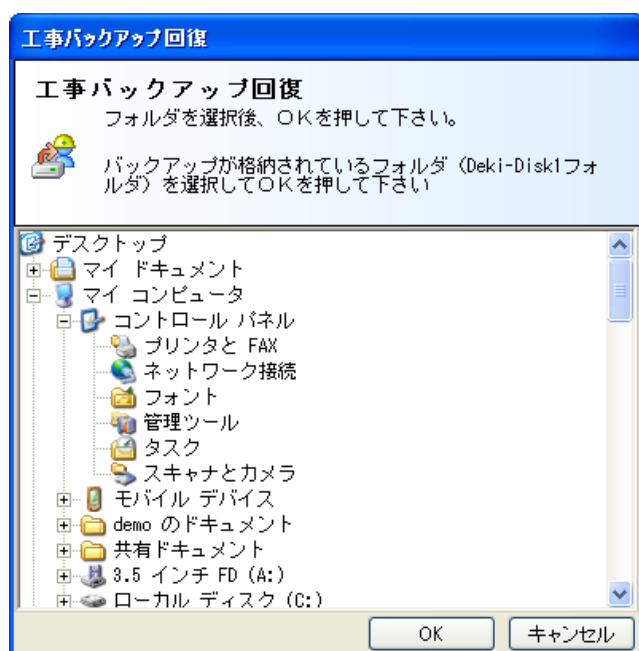
工事を開いている場合、「現在開いている工事を一旦閉じてから処理します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



回復先に茨城県様式が無い場合、工事バックアップデータ回復先の提出機関が空白になります。その警告メッセージが常に確認されますので「OK」をクリックします。



フォルダ選択画面が表示されますので、【手順 4】で作成した工事バックアップデータ「Deki-Disk1」フォルダを選択し「OK」をクリックすると、バックアップデータの回復が開始されます。



以上で、らくらく電子納品から CALSMaster へのデータ移行は完了となります。



発行日：2011年7月
発行者：ダットジャパン株式会社